

和歌山縣報

第三百四十一號

大正五年一月十五日

○縣令

○和歌山縣令第三號

明治三十二年^{十二}月^{十二}縣令第八十二號產婆規則施行細則中左ノ通改正ス

大正五年一月十五日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

第一條 產婆試驗ハ毎年二回之ヲ行フ其ノ期日及場所ハ豫メ之ヲ告示ス
第二條 試驗願書ハ毎年二月及七月中之ヲ提出スヘシ

○和歌山縣令第四號

明治三十九年^二月^二縣令第六號和歌山縣稅賦課規則左ノ通改正シ大正五年四月一日ヨリ施行ス

大正五年一月十五日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

和歌山縣稅賦課規則

第一章 總則

第一條 縣稅ヲ賦課スヘキ稅目左ノ如シ

地 租 割
戶 數 割

家屋稅

營業稅

雜種稅

國稅附加稅

(地租割ヲ除ク)

第二條 縣稅ノ賦課率ハ毎年度定ムル歲入豫算及營業稅雜種稅課目課額ニ據ル

第三條 縣稅ハ總テ前納トシ年稅、月稅、日稅、隨時稅(屠宰稅、木材川下稅、捕鯨稅、狩獵稅)ノ四種トシ賦課期日ニ於テ

納稅義務ヲ有スル者ニ賦課ス

第四條 年稅ハ別ニ規定スルモノノ外前期(自四月至九月)後期(自十月至翌年三月)ニ分チ前期ハ四月一日後期ハ十月

一日ヲ以テ賦課期日トシ毎期稅率ノ二分ノ一ヲ賦課ス

雜種稅中海面遊漁、河川漁業中鰯漁、其ノ他漁業ハ四月一日河川漁業中鮎免許漁業、鮎許可漁業、

其ノ他鮎漁、牡蠣、河川採藻ハ徵收期月初日ヲ以テ賦課期日トシ全額ヲ一時ニ賦課ス

月稅ハ其ノ月初日ヲ以テ賦課期日トス

日稅、隨時稅ハ届出又ハ認許ノ日ヲ以テ賦課期日トス

第五條 國稅附加稅ハ本稅年額ヲ標準トシ左ノ期日ニ之ヲ賦課ス

一 營業稅附加稅ハ其ノ年六月一日

二 所得稅附加稅ハ其ノ年九月一日

三 賣藥營業稅附加稅ハ其ノ年七月一日

四 礦業稅附加稅、所得稅法第三條第一種所得ニ對スル附加稅、取引所營業稅附加稅ハ本稅額決

定ノ日

第六條 臨時追加ニ係ルハ徵收期月初日ヲ賦課期日トシ之ヲ賦課ス但シ營業稅、所得稅、賣藥

營業稅、鑛業稅、取引所營業稅ニ對スル附加稅ノ課稅標準ハ縣ノ豫算年度ノ本稅額ニ據ル

市町村會ニ於テ賦課等差ノ設ケアルモノハ其ノ賦課歩合ニ依リ總額ヲ割當賦課スヘシ但シ負擔額寡少ナルトキハ市町村會ノ議決ニ依リ平均額ヲ賦課スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第十六條第二項第三項ノ規定ヲ準用ス

第七條 賦課期日後新ニ納稅義務ノ發生シタルモノハ其ノ發生ノ日ヲ以テ賦課期日トシ年稅ハ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ賦課シ月稅ハ當月十五日以前ナルトキハ全額十六日以後ナルトキハ半額ヲ賦課ス

第八條 納稅義務消滅シタル場合ニ於テハ別ニ規定スルモノノ外該期間賦課額ヲ變更セス

第九條 納稅人縣内他市町村ニ移轉シタルトキハ該年度中ハ仍前住地ノ市町村會ニ於テ議決シタル課額ニ依リ賦課ス

第十條 脫稅者アリタルトキハ脫稅ニ係ル各年度ノ稅金ヲ一時ニ賦課ス

第十七條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二章 地租割

第十一條 地租割ハ賦課期日現在ノ地租額ニ依リ賦課ス

第十二條 新ニ有租地トナリ又ハ地價修正ノ爲地租ノ増加セシ部分ニ對シテハ納租義務ノ起リタル日ニ過リ賦課ス

第十三條 荒地免租出願中ニ係ルモノハ賦課ヲ猶豫ス

第三章 戶數割、家屋稅

第十四條 戸數割ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ賦課ス

一 本籍、寄留、戸主、家族ヲ問ハス總テ一戸ヲ構フル者

二 同居者ト雖經濟ヲ異ニシ獨立ノ生計ヲ營ム者

三 三箇月以上本縣内ニ滞在スル者

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニハ戸數割ヲ賦課セス

一 國、縣、郡、市町村ヨリ六箇月以上引續キ救助ヲ受クル者

二 一定ノ場所若ハ他人ノ家ニ寄宿スル學校生徒、職工及徒弟

三 木挽、石切、炭焼等ノ類ニシテ山野ニ小屋掛ヲ爲シ炊爨ヲ爲ス者

第十六條 町村ハ町村會ニ於テ四月一日現在戸數ニ應シ一戸課率ニ對スル税金ノ總額ヲ計算シ四

月三十日迄ニ納稅義務者ノ資力ニ應シ各自ノ等級課額ヲ議定スヘシ

赤貧ニシテ納稅ノ資力ナシト認ムルモノニハ町村ハ町村會ノ議決ニ依リ賦課ヲ免スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ其ノ町村ノ賦課總額ヲ減スルコトヲ得ス

第十七條 賦課期日後新ニ納稅義務ノ生シタル者ノ戸數割賦課方法ハ前條第一項ニ準據シ町村會

之ヲ議定スヘシ

第十八條 家屋稅ハ和歌山市ニ於ケル家屋ニ對シ建物ノ坪數ヲ標準トシ其ノ所有者ニ賦課ス但シ

質權ヲ設定シタル家屋ニ對シテハ質權者ニ賦課ス

家屋稅課率ハ其ノ年度ノ戸數割及私法人建物稅ノ市ノ負担ニ相當スル稅額ヲ標準トシ之ヲ定ム

ルモノトス
第十九條 市ハ市會ニ於テ四月一日現在家屋ノ建坪ニ應シ一坪ノ課率ニ對スル税金ノ總額ヲ計算

シ四月卅日迄ニ家屋ノ租及地位等級ヲ標準トシ其ノ賦課額ヲ議定スヘシ第十六條第二項第三項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 賦課期日後家屋ヲ新築増築シ若ハ其ノ他ノ事由ニ依リ坪數ヲ増加シタルモノノ賦課額ハ既定ノ課額ニ依リ之ヲ定ムヘシ

第二十一條 左ニ掲クル建物ニハ家屋稅ヲ課セス

一 公益法人又ハ之ニ準スルモノニ於テ直接其ノ用ニ供スル建物但シ有料ニテ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラス

二 戸締ナキ肥料小屋

第四章 營業稅雜種稅

第二十二條 營業稅、雜種稅ハ課目課額ニ定ムル營業若ハ行爲ヲ爲ス者物件ヲ所有スル者又ハ獸畜ヲ飼養スル者ニ賦課ス

私法人建物稅ハ營利ヲ目的トスル法人ノ使用スル建物ニ對シ其ノ使用法人ニ賦課ス

第二十三條

營業稅中商業

(牛馬賣買業、
設置屋除ク)

工業、
(職工ヲ除ク)

雜種稅中料理屋、飲食店ハ課目課額ニ定メタル

課率ニ依リ市町村ハ四月一日現在營業人員ニ應シ税金ノ總額ヲ計算シ市町村會ニ於テ四月三十日迄ニ各營業者ノ資本金、賣上金、收入金報償金等ノ見積額ヲ標準トシ營業ノ狀態ヲ參酌シ各稅目毎ニ等級課額ヲ議定スヘシ但シ市町村ノ狀況ニ依リ相互税金ノ總額ヲ通算シ市町村會ニ於テ等級課額ヲ議定スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ營業者少數ニシテ別ニ等級課額ヲ設クルノ必要ナシト認ムル町村ニ在リテハ町村會ノ議決ヲ以テ一戶課額ヲ賦課スルコトヲ得

海面漁業税ハ課目課額ニ定メタル市町村制當總額ニ依リ市町村會ニ於テ四月一日現在ノ漁業者ニ對シ四月三十日迄ニ漁具、漁船、從業者等ヲ標準トシ漁業ノ狀態ヲ參酌シ各自ノ等級課額ヲ議定スヘシ

第十六條第二項第三項及第十七條ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 賦課期日後營業ヲ繼承シタル者ニシテ前營業者ト同一戸籍内ノ者又ハ賦課ヲ受ケタル物件ヲ取得シタル者ニ對シテハ其ノ期間内税金ヲ賦課セス

第二十五條 營業税雜種税ヲ納ムル者ニシテ國稅營業税ノ賦課ヲ受クルニ至リタルトキハ其ノ期ノ税金ハ月割ヲ以テ計算シ過納ニ係ル税金ハ之ヲ還付ス

第二十六條 營業ヲ廢止シ又ハ物件ヲ廢棄シタル後再ヒ前ト同一課目ノ營業ヲ開始シ又ハ同一物件ヲ補充シタルモノニシテ課税標準ノ増加ニ係ルモノハ其ノ差額ヲ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ賦課ス

課税標準ノ異動ニ依リ税額ノ増加スヘキ理由ノ生シタルモノハ其ノ差額ヲ其ノ月ヨリ月割ヲ以テ賦課ス

第二十七條 豫定日數又ハ豫定員數ニ依リ賦課シタルモノニシテ實數ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ増減ニ係ル税金ヲ追徴又ハ還付ス

第二十八條 俱樂部其ノ他名義ノ如何ヲ問ハス遊技場ヲ設ケ來客又ハ公衆ニ演技セシムルトキハ料金ヲ徴セサルモ遊技場營業者ト看做シ課税ス

第二十九條 私法人建物税ノ課税標準タル建物賃賃價格ノ算定方法ハ營業税法第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十條 木材川下税ハ、網ノ川、有田川、日高川、富田川、日置川、古座川、太田川、北山川、新宮川筋ヲ流下スル木材(板ヲ含ム)ノ材積ヲ標準トシ其ノ所有者ニ賦課ス

第三十一條 課目課額ニ定メタル課目中相互ノ兼業ニ係ルモノ又ハ二戸以上ノ店舗其ノ他營業場ヲ有スルモノ若ハ同一場所ニ於テ經濟ヲ異ニシ共同營業ヲ爲スモノハ各別ニ賦課ス河川漁業中各種ノ漁業ヲ爲スモノ亦同シ

第三十二條 商工業者ノ家族又ハ雇人ニシテ其ノ營業主ノ爲ニ行商スルモ營業主ト同居セサル者ハ獨立營業者ト看做シ課税ス

第三十三條 工業者ニシテ店舗ヲ設ケ他ノ製品ヲ併セ販賣スル者ハ各別ニ賦課ス

第三十四條 職工ハ家族ト雖其ノ業ニ從事スル者ハ各別ニ賦課ス

第三十五條 職工徒弟又ハ職工見習中ノ者ト雖賃工錢ヲ受クル者並ニ年齡二十歳以上ノ者ハ職工税ヲ賦課ス

第三十六條 河川漁業中鮎免許漁業、鮎許可漁業者ノ從業者ハ其ノ他ノ鮎漁者ト看做シ課税ス

第三十七條 左ニ掲クルモノハ税額ノ多キ一方ニ税額ノ相均シキモノハ主ナル業目ノ一方ニ賦課ス

- 一 同一場所ニ於テ料理屋、待合茶屋、芝屋茶屋、遊船宿、飲食店ヲ兼スル者
- 二 遊藝師匠、遊藝稼人、藝妓、娼間、俳優ヲ兼スル者
- 三 職工、遊藝師匠、遊藝稼人、藝妓ニシテ一税目中ノ等級地若ハ等級ノ異ナル業ヲ兼スル者
- 四 海面遊漁中ノ磯釣、船釣ヲ兼スル者
- 五 筏乗ト木流業ヲ兼スル者

六 代書人ニシテ各種ノ代書ヲ兼ユル者

第三十八條 左ニ掲クルモノニハ其ノ税金ヲ賦課セス

一 年齢六十歳以上ノ職工ニシテ營業所又ハ徒弟見習人ナキ者及癡疾不具若ハ年齢十五歳未滿ノ職工

二 織物、紡績、製糸、燐寸、漆器、傘、製紙、貝卸ノ製造ニ從事スル女職工

三 屑買、灰買、履物直シ、煙管仕替ノ類ニシテ營業ノ場所ヲ定メサル者

四 遊藝師匠、遊藝稼人ニシテ自用ヲ辨セサル不具癡疾者又ハ年齢十七歳未滿ノ者

五 搗臼ニ基以下ノ水車ニシテ營業ノ用ニ供セサルモノ

六 店舗其ノ他營業場ヲ設ケスシテ自家收穫ノ農産物又ハ捕獲物ヲ販賣スル者

七 草履、草鞋、草花ノ類ヲ小賣スル者

八 雜菓子、鹽、煮豆ノ類ヲ呼賣スル者

九 營利ノ目的ニアラスシテ單ニ神佛祭典又ハ慈惠ノ爲ニスルモノ

十 生後六ヶ月未滿ノ畜犬

十一 製造所内又ハ鑛山借區内ニ於テ專用ノ車

十二 人糞尿及塵芥運搬専用ノ船車

十三 渡船場ニ専用ノ船

十四 航海中本船ニ掲ケ置ク傳馬船ノ類

十五 船橋ノ組成ニ用井タル船

十六 非常用ノ爲ニ備置ク船車

十七 育兒專用車

十八 道路撒水專用車

十九 產業組合及畜産組合ノ營業

二十 家畜市場法ニ依ル市場

二十一 漁業組合ノ經營スル魚市場

第五章 國稅附加稅(地租割ヲ除ク)

第三十九條 府縣制第八條ニ依リ賦課歩合ノ協定ヲ要スル國稅附加稅ハ其ノ賦課歩合ノ決定又ハ本稅額確定ノ際一時ニ之ヲ賦課ス

前項ノ場合ニ於テ縣内ニ二箇所以上ノ營業所ノ設ケアルモノハ一箇所ニ於テ賦課ス

第四十條 國稅附加稅ヲ賦課シタルモノニシテ其ノ本稅額ニ異動ヲ生シタル場合ハ其ノ増減ニ係ル税金ヲ追徴又ハ還付ス

○ 告 示

○和歌山縣告示第十一號

大正四年十二月廿日左記狩獵免狀大阪市西區新町通三丁目旅館村上シゲ方ヨリ郵送途中喪失ノ旨届出タリ

大正五年一月十五日

田第四號 大正四年十月十八日下附

乙種二等狩獵免狀 壹枚

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

和歌山縣西牟婁郡田邊町大字中屋敷町四
拾八番地平民會社員

栗山龍藏

明治十九年一月廿七日

○和歌山縣告示第十二號

左記ノ通獸疫發生シタリ

大正五年一月十五日

記

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

番號	獸類	種類	性	病名	發見月日	發病月日	轉歸月日	診斷方	發生地
----	----	----	---	----	------	------	------	-----	-----

一三	犬	雜種	牡	狂犬病	十二月廿一日	十二月廿八日	一月七日斃死	臨床及剖檢	海草草郡加太町
----	---	----	---	-----	--------	--------	--------	-------	---------

○和歌山縣告示第十三號

大正五年一月十一日伊都郡紀見村西川耕地整理組合組合長組合副長選任ノ件左ノ通認可セリ

大正五年一月十五日

記

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

一、組合長
一組合副長

木澤秀治郎
土井廣次郎

○和歌山縣告示第十四號

左記自轉車鑑札紛失ノ旨届出ニ依リ自今無効トス

大正五年一月十五日

鑑札番號

紛失年月日

和歌山縣知事
住 所

鹿子木 小五郎

氏 名

日第七〇七號

大正四年十二月十二日

日高郡御坊町大字島

細田 春 松

○和歌山縣告示第十五號

縣參事會ノ議決ヲ經タル大正四年度和歌山縣歳入歳出追加豫算左ノ如シ

大正五年一月十五日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

議第三十一號

大正四年度和歌山縣歳入歳出追加豫算書

歳 入

經 常 部

第三款

雜

種

稅

金千百圓

第卅四項

畜

犬

稅

金千百圓

第十一欸

雜

收

入

金四百六拾九圓九拾錢

郡市收入

第八項

雜

郡市收入

金拾九圓九拾錢

第十三項

縣金庫保管金運用利子

金四百五拾圓

經常部合計金千五百六拾九圓九拾錢

郡市收入

歲入總計金千五百六拾九圓九拾錢

郡市收入

歲出

經常部

第七款

教育費

金千貳百四拾九圓九拾錢

第一項 師範學校費

金千貳百四拾九圓九拾錢

經常部合計金千貳百四拾九圓九拾錢

郡市負擔

臨時部

第廿一款 獻納費

金參百貳拾圓

第一項 獻納費

金參百貳拾圓

臨時部合計金參百貳拾圓

郡市負擔

歲出總計金千五百六拾九圓九拾錢

郡市負擔

○和歌山縣告示第十六號

明治三十九年四月勅令第九十六號ニ依リ左記神社ヲ神饌幣帛料供進神社ニ指定ス

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

西牟婁郡潮岬村大字出雲村社 朝貴神社

○和歌山縣告示第十七號

明治四十一年七月內務省令十二號附則ニ依リ左記神社ヲ會計法適用神社ニ指定ス

大正五年一月十五日 和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

記

西牟婁郡潮岬村大字出雲村社 朝貴神社

○通牒照會

○通牒

○會第二一號一

大正五年一月十五日

內務部郡

市役役所

町村役場御中

徴兵旅費繰替支辨ニ關シ內務省ヨリ別紙寫ノ如ク通牒ニ接シ候付及移牒候也

○内務省台會第一二四號

大正四年十二月廿八日

鹿子木和歌山縣知事殿

山田内務大臣官房會計課長

徴兵旅費繰替支辨ノ件ニ付通牒

徴兵旅費繰替支辨ニ關スル大正二年勅令第二五號ハ臺灣朝鮮樺太等ニハ施行セラレサル義ニ候處近時尙市町村ヨリ臺灣官衙ニ對シ繰替支辨方依頼スル向頻繁ニ有之候由臺灣總督府ヨリ申來候ニ付右取扱方一般市町村ニ對シ周知セシメラレ度

○ 辞 令

○大正四年十二月二十四日

久保田くの

願ニ依リ和歌山縣立和歌山高等女學校薙刀教師囑託ヲ解ク

會計吏員 園村幸之助

本月二十一日加太分署縣出納吏交替ニ付前任者ノ取扱ニ係ル金櫃帳簿ノ檢査ヲ命ス

伊都郡書記 田村 士岐三郎

本月二十一日高野分署出納吏交替ニ付前任者ノ取扱ニ係ル金櫃帳簿ノ檢査ヲ命ス

日高郡農業技師 加藤範次郎

(各 通)

技師 橋都正農夫
全 片平英夫

大正五年一月開設農業講習會講師ヲ命ス

全上事務員ヲ命ス

任警部補
給月俸拾九圓

警察部保安課勤務ヲ命ス

御坊警察署勤務ヲ命ス

伊都郡柏原尋常高等小學校訓導ニ任ス

本科正教員勤務

六級下俸ヲ給ス

師範學校訓導ニ任ス

月俸貳拾四圓ヲ給ス

年手當五拾圓ヲ給ス

十一級當分年俸
六百六十圓下賜

○大正四年十二月二十五日

官幣大社熊野速玉神社主典ニ補ス

四級俸ヲ給ス

年手當貳拾圓ヲ給ス

○大正四年十二月二十七日

願ニ依リ職務ヲ免ス

依願解雇

有田郡湯淺男子尋常高等小學校訓導

官幣大社熊野速玉神社宮司

粉河中學校教諭

屬 北谷 亮

巡查 山崎久之助

警部補 石井善治

師範學校訓導 大浦茂樹

梅原榮吉

上野 殖

重原慶信

河村正治

土木技手 田端富三

雇 井村義丸

願ニ依リ職務ヲ免ス

日高郡南部町上南部村岩代村學校組合
立日高第二實業學校書記兼助教諭心得

鹽路 尚武

○大正五年一月八日

任日高郡技手

那賀郡技手

佐曾 利茂

給月俸貳圓

日高郡農業技手ニ任ス

佐曾 利茂

月俸參拾八圓ヲ給ス

○大正五年一月十一日

日高郡南部町上南部村岩代村學校組合立日高第二實業學校書記ニ任ス

岡崎 幸次郎

月俸拾五圓ヲ給ス

日高郡南部町上南部村岩代村學校組合立日高第二實業學校書記

岡崎 幸次郎

日高郡南部町上南部村岩代村學校組合立日高第二實業學校助教諭心得兼務ヲ命ス

○町村吏員ノ異動

○大正五年一月十二日認可

海草郡和歌浦町助役

畑山 光太郎

○大正五年一月十二日認可

東牟婁郡下里村助役

清水 政市

○大正五年一月四日辭職

海草郡楠見村長 池田 柳塘

○彙報

○官廳事項

○官等陸叙 技師正八位小關太平治ハ大正四年十二月二十二日高等官七等ニ陸叙セリ

○改姓 田邊中學校武藝教師池田茂雄ハ今般中田ト改姓ノ旨十二月廿一日届出タリ

○轉任 本縣技師水産試驗場技師正七位小濱泰ハ大正四年十二月二十四日香川縣技師(高等官六等)水産試驗場技師兼同縣水産技師ニ轉任セリ

○資格昇進 粉河中學校教諭陸軍歩兵伍長重原慶信ハ大正四年十二月二十四日奏任待遇ニ資格昇進セリ

○官等陸叙 師範學校長正七位小川正行ハ大正四年十二月二十八日高等官五等ニ陸叙セリ

○叙位 大正四年十二月二十八日正八位龜井眞澄及上野殖ハ孰レモ從六位ニ勳八等福本務ハ同日從八位ニ叙セラレタリ

○官吏改姓 技手高木直一ハ今般大越ト改姓ノ旨大正四年十二月二十七日届出タリ

○失職 休職技手休職土木工師安井禎夫ハ收賄罪ニ依リ和歌山地方裁判所ニ於テ言渡サレタル懲役六ヶ月(二年間刑ノ執行猶豫)ノ判決大正四年十二月二十九日確定ニ付其官職ヲ失ヒタリ

○轉任 伊都郡橋本町立高等女學校教諭兼校長石川弘ハ一月十日同校長兼教諭ニ轉任セリ

○市町村稅收入成績 大正三年度ニ於ケル縣下市町村稅收入成績郡別左ノ如シ

郡市別	賦課額	納期限内 收入額	同上百 分比例	納期繰 收入額	同上百 分比例	滞納處分 收入	缺損	翌年度繰越 人員	金額
海草郡	二二,三三,四〇	一七,七四,四〇	八〇,二〇	二五,四四,五五	一一二,三八	二,〇三,九五〇	五四四,五〇〇	一,二六〇	二七四七,二四五
那賀郡	一七〇,三三九	一五,四六,五六	九,七八	一九,五六,七九	一一三,二一	一,五四,一三五	二七三,六七四	五〇〇	三,五〇,一五五
伊都郡	一四,五五,五五	一九,五八,八五	一四,五〇	一九,九九,五五	一四,二〇	一,二八七,〇五五	五五,三六〇	?	一七八,三四〇
有田郡	一三,三九,五〇	一三,四二,六〇	九,五三	一三,四四,三〇	八,三三	一,一四〇,二五	二四四,九四〇	八九	二二,五五五
日高郡	一七四,七六,四〇	一七,七四,八〇	九,七〇	二七,九一,八〇	一,五九	四三,二〇〇	五三三,七二〇	一〇〇	二六四,六〇〇
西牟婁郡	一八,三三,九三	一六,五〇,三八	八,七〇	二二,九六,七五	一一,八二	三九七,六六〇	三六,八八〇	八二	一,一八七,一六〇
東牟婁郡	一七,一九四,八五	一四,九六,五〇	八,一一	一五,八二,三五	八,九八	一一,二九一,二五五	二九,九四〇	三八	五九〇,八五五
和歌山市	一五,三三,三〇	一四,三三,五五	九,四六	一六,四八,九五	九,四二	一六,七九〇,七五	一,九〇,七五	—	—
合計	一,四八,九四六,三三	一,〇七,五八七,七四	八,一一	一,九七,七五四,六四	一四,六六	二四,八八二,三五	四七七,三〇九	二,九九九	三,九九三,七九〇

備考

一、西牟婁郡ニ於テ川添村ノ分未調査ニツキ計上セス
 一、西牟婁郡ニ於テ免除壹圓五拾四錢アリ

○寄附金募集 縣下海草郡紀三井寺天字紀三井寺護國院ニ對シ縣下ニ於ケル寄附金募集従事者左記ノ者追加ノ件一月十一日認可セラレタリ

記

東牟婁郡下里村大字下里七百五十四番地

湊 米藏

文久元年一月生

縣下伊都郡見好村大字東湊田蟻通神社ニ對シ左記ノ通寄附金募集ノ件一月十一日許可セラレタリ

記

一募集目的

一募集金額

一募集期限

一募集方法

一募集區域

一募集従事者

社殿ノ家根替、寶庫ノ新築、鳥居、瑞垣共他工付物ノ修繕費ノ内へ
六百五十圓

許可ノ日ヨリ大正五年三月三十一日迄

印刷書狀ヲ各人へ郵送シ寄附ノ諾否ハ各人ノ任意ニ依ラシム
和歌山縣下一圓

全神社神職

久保田 彌三郎 嘉永三年十月生

伊都郡見好村大字澁田四一四番地農

南 常 吉 安政五年三月生

全 村大字全 二八七番地商

平野 幸之助 明治三年十一月生

全 村大字全 八一五番地農

今 井 一朝 慶應二年九月生

全 村大字西澁田七九三番地農

宮野 熊太郎 安政四年一月生

全 村大字全 三〇一番地農

菅 原 忠 次 明治三年九月生

全 村大字全 五三九番地農

決定書

岡田正義 明治十年七月生

伊都郡高野村大字高野山

稻葉堯運

右異議申立ノ要旨ハ異議申立人ハ高野山本覺院住職トシテ其ノ職務執行ノ爲ニノミ之ニ在留スルモノニシテ普通一般人カ生活ノ本據トシテ居住スルモノトハ全然其ノ性質ヲ異ニスルモノナルヲ以テ準公法人ト看做サルヘク從フテ明治十三年太政官布告第十六號ノ地方稅規則ニ所謂戶別ト稱スヘカラサル本覺院ヲ普通ノ戶ト看做シ高野村長カ大正四年度前期分縣稅戶數割ヲ賦課シタルハ違法ナルヲ以テ其ノ取消ヲ求ムト云フニ在リ

依テ府縣制第百十五條ニ依リ之ヲ受理シ審查ヲ遂クルニ異議申立人ハ高野村長ノ賦課命令ヲ公益法人ト認メラルヘキ本覺院ニ對スルモノト思惟スルカ如キモ之レ全然誤解タルヘク右ハ本覺院ヲ以テ戶ト看做シ之ニ課セラルヘキ戶數割ヲ其ノ代表者タル住職稻葉堯運ニ賦課シタルモノニアラスシテ明治二十六年以來本覺院ニ居住シ一私人トシテ自己ノ經濟ニ於テ炊爨ヲナシツ、アル稻葉堯運其ノ者ニ課セルモノナリ異議申立人ハ「其ノ本覺院ニ在ルハ住職タル職務執行ノ爲ニシテ普通一般人カ生活ノ本據トシテ之ニ居住スルモノトハ全然其ノ性質ヲ異ニス」ト云フナルカ寺院ニ居住スルモ其ノ住職タルノ一事ハ其ノ者カ寺院内ニ於テ一私人トシテ炊爨ヲナスコトヲ絕對ニ排除スル必然的關係ヲ有スルモノニアラス、何トナレハ住職カ寺院内ニ於テ自費自爨ノ生活ヲ禁止スル國家ノ法規又ハ宗制寺法ナク反ツテ明治十四年七月内務省乙第三十三號達及之ニ基キ發シタル明治二十九年九月和歌山縣令第四十二號第七條ハ住職カ寺院内ニ於テ自費自爨ノ生活ヲ爲シ得

ヘキコトヲ認メタル注文ナリ而シテ異議申立人ハ寺院内ニ居住シ別ニ寺院ヨリ其ノ生活費トシテ一定ノ給與ヲ受クルコトナク寺院ノ收入ノ全部ヲ自由ニ處分シ之ヲ以テ自饗ノ資ニ充テツ、アルコトハ明瞭ナル事實ナルヲ以テ異議申立人ハ明治三十九年二月縣令第六號縣稅賦課規則第十六條ニ所謂一戸ヲ構フル者ニシテ之ニ對シ高野村長カ縣稅戶數割ヲ賦課シタルハ決シテ違法ニアラスシテ異議申立人ノ申立ハ毫モ理由アルモノニアラス以上ノ理由ニ依リ決定ヲナスコト左ノ如シ

伊都郡高野村長カ異議申立人ニ對シテナシタル大正四年度前期縣稅戶數割ノ賦課ハ取消スヘキ限ニ在ラス

大正五年一月 日

和歌山縣參事會

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

和歌山縣報

第三四一號

大正五年一月十五日

(第三千四百一十一號)

三二

大正五年一月十五日印刷
大正五年一月十五日發行
每月三日六日九日十一日十四日十八日二十一日二十四日二十七日三十日

和歌山縣知事官房

印

和歌山市北休賣町六番地
和歌山市北休賣町六番地

七